

平成22年中のサイバー犯罪の検挙状況等について

1 サイバー犯罪の検挙状況

平成22年中のサイバー犯罪の検挙件数は6,933件（前年比+243件、+3.6%）。統計を取り始めてから過去最多。 [1頁]

(1) 不正アクセス禁止法違反

不正アクセス禁止法違反は1,601件（前年比-933件、-36.8%）。

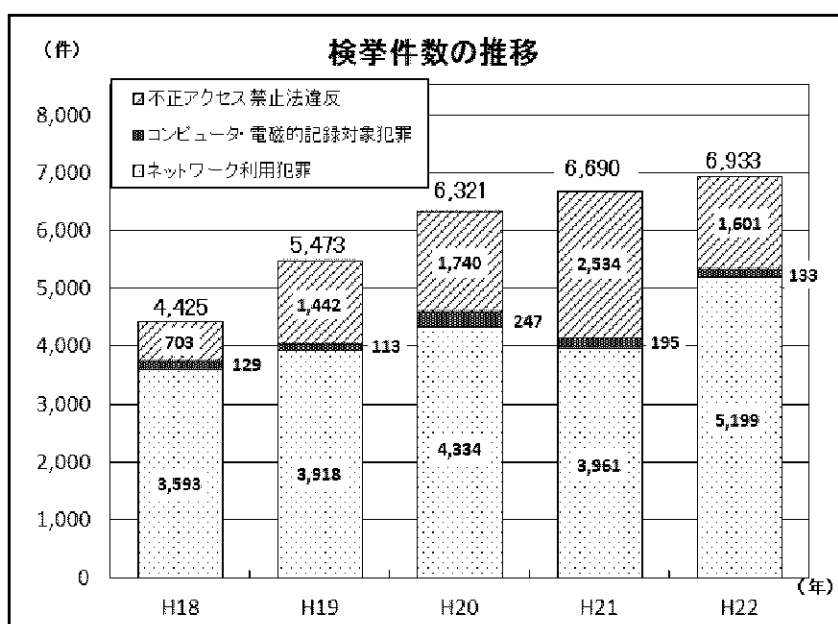
(2) コンピュータ・電磁的記録対象犯罪

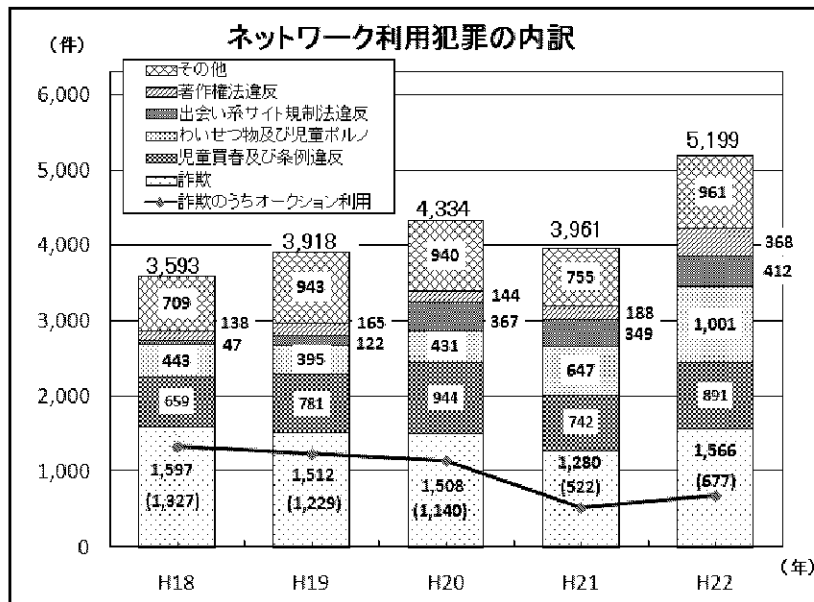
コンピュータ又は電磁的記録を対象とした犯罪は133件（前年比-62件、-31.8%）。

(3) ネットワーク利用犯罪

ネットワーク利用犯罪は5,199件（前年比+1,238件、+31.3%）。

- ネットワーク利用詐欺は1,566件（+286件、+22.3%）。
 インターネット・オークション利用詐欺は677件（+155件、+29.7%）。
- 児童買春及び青少年保護育成条例違反は891件（+149件、+20.1%）。
- わいせつ物頒布等及び児童ポルノ事犯は1,001件（+354件、+54.7%）。
 児童ポルノ事犯は783件（+276件、+54.4%）。
- 出会い系サイト規制法違反は412件（+63件、+18.1%）。
- 著作権法違反は368件（+180件、+95.7%）。

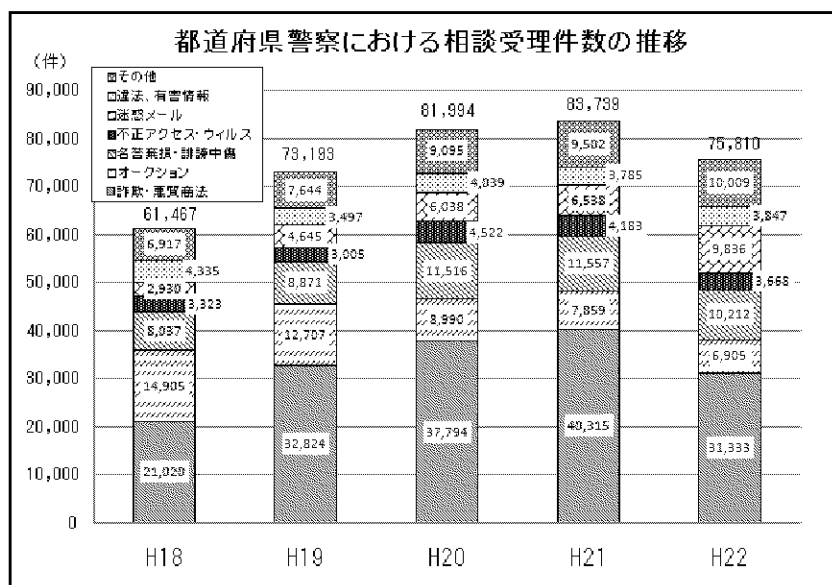




2 サイバー犯罪等に関する相談状況

平成22年中に都道府県警察の相談窓口で受理したサイバー犯罪等に関する相談件数は75,810件（前年比－7,929件、－9.5%）。 [4頁]

- 詐欺・悪質商法に関する相談は31,333件（－8,982件、－22.3%）。
- インターネット・オークションに関する相談は6,905件（－954件、－12.1%）。
- 迷惑メールに関する相談は9,836件（＋3,298件、＋50.4%）。
- 不正アクセス、ウイルスに関する相談は3,668件（－515件、－12.3%）。



3 インターネット上の自殺予告事案への対応

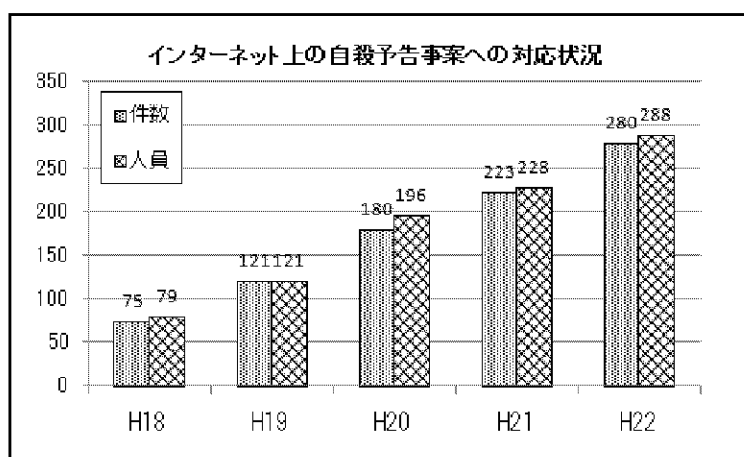
インターネット上の自殺予告事案について、平成22年中に都道府県警察がプロバイダ等から情報開示を受け対応した件数及び人数は、280件288人。（前年比＋57件、＋60人） [6頁]

(1) 認知の端緒

- 一般からの通報が140件（+41件、+41.4%）。
- サイト管理者からの通報が101件（+27件、+36.5%）。

(2) 対応状況

- 自殺を図った者は25人（+14人）、うち死亡者が11人（+9人）、救護等により存命した者が14人（+5人）。
※存命した者のうち、警察官による発見、救護は5人（+1人）。
- 自殺のおそれのある89人（+11人）に対し、本人への説諭、家族への監護依頼等の自殺の防止措置を実施。
- 自殺のおそれのないものは128人（+24人）。



4 今後の対策

(1) 取締りの強化

- 違法情報の取締り体制を整備するとともに、全国協働捜査方式の運用によりサイバー犯罪の取締りを強化する。また、国民に対して注意喚起を行う等、被害防止対策を推進する。
- フィッシング、ファイル共有ソフト等新たな手口に対応した、効果的な取締り手法の研究と、それをもとにした検挙を推進する。
- 各種教養を通じて警察署を含めたサイバー犯罪捜査を担う人材の計画的な育成を図る。

(2) 相談に対する的確な対応と国民への注意喚起

他人のクレジットカード番号を悪用したネットワーク利用詐欺の多発などサイバー犯罪の発生状況や相談受理状況を分析し、関係事業者に対し、3Dセキュアを始めとするセキュリティ向上措置の導入を促すなど、サイバー犯罪防止対策の強化を働き掛ける。

(3) インターネット上の自殺予告事案への迅速な対応

インターネット上の自殺予告事案を把握した場合は、引き続きプロバイダ等の協力を得て迅速に発信者を特定し、保護や救護等の自殺防止に係る措置を行う。

平成22年のサイバー犯罪の検挙及び相談状況について

第1 サイバー犯罪の検挙状況

1 検挙件数

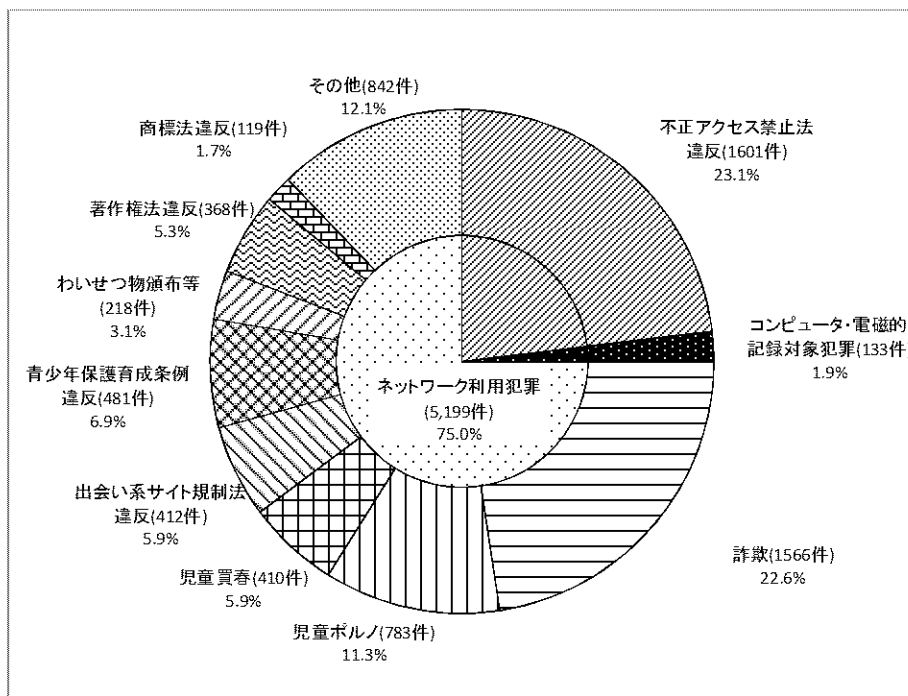
罪名	年					前年比増減
	H18	H19	H20	H21	H22	
不正アクセス禁止法違反	703	1,442	1,740	2,534	1,601	- 933 (- 36.8%)
コンピュータ・電磁的記録対象犯罪	129	113	247	195	133	- 62 (- 31.8%)
電子計算機使用詐欺	63	74	220	169	91	- 78 (- 46.2%)
電磁的記録不正作出・毀棄等	56	34	20	22	36	+ 14 (+ 63.6%)
電子計算機損壊等業務妨害	10	5	7	4	6	+ 2 (+ 50.0%)
ネットワーク利用犯罪	3,593	3,918	4,334	3,961	5,199	+ 1,238 (+ 31.3%)
詐欺	1,597	1,512	1,508	1,280	1,566	+ 286 (+ 22.3%)
うちオークション利用詐欺	1,327	1,229	1,140	522	677	+ 155 (+ 29.7%)
児童買春・児童ポルノ法違反(児童ポルノ)	251	192	254	507	783	+ 276 (+ 54.4%)
児童買春・児童ポルノ法違反(児童買春)	463	551	507	416	410	- 6 (- 1.4%)
出会い系サイト規制法違反	47	122	367	349	412	+ 63 (+ 18.1%)
青少年保護育成条例違反	196	230	437	326	481	+ 155 (+ 47.5%)
わいせつ物頒布等	192	203	177	140	218	+ 78 (+ 55.7%)
著作権法違反	138	165	144	188	368	+ 180 (+ 95.7%)
商標法違反	218	191	192	126	119	- 7 (- 5.6%)
その他	491	752	748	629	842	+ 213 (+ 33.9%)
合計	4,425	5,473	6,321	6,690	6,933	+ 243 (+ 3.6%)

※ その他には、名誉毀損、脅迫、覚せい剤取締法違反等の薬物事犯、売春防止法、児童福祉法、犯罪収益移転防止法、薬事法等の違反がある。

※ ネットワーク利用犯罪の定義

犯罪の構成要件に該当する行為についてネットワークを利用した犯罪、又は構成要件該当行為でないものの、犯罪の実行に必要不可欠な手段としてネットワークを利用した犯罪をいう。例えば、児童買春及び青少年保護育成条例違反については、ネットワーク上で連絡を取り合った者同士がネットワーク上において性交等に合意している場合に限って計上している。

2 サイバー犯罪の罪名別割合



3 平成22年中の主なサイバー犯罪検挙事例

不正アクセス禁止法違反

【不正アクセス禁止法違反、電子計算機使用詐欺】

被疑者（会社員・男性・29歳）は、他人のIP電話のID・パスワードを不正に取得し、これを自宅のIP電話機に設定して国際電話をかけ、料金の支払いを免れた。

（8月・警視庁）

【不正アクセス禁止法違反、電子計算機使用詐欺事件】

被疑者（無職・男性・54歳）は、インターネットのサイト上で知り合った者に株式投資を勧めて口座を開設させ、言葉巧みに口座のID・パスワードを聞き出して不正にアクセスし、別口座に現金500万円を移した。

（9月・沖縄）

コンピュータ・電磁的記録対象犯罪

【電子計算機使用詐欺事件】

被疑者（会社役員・男性・47歳）らは、不正に他人名義のクレジットカード情報を入手し、これを利用してチケット予約サイトから約3,400万円分のチケットを購入した。

（7月・警視庁）

ネットワーク利用犯罪

【脅迫】

被疑者（講師・男性・37歳）は、勤務先の学校を解雇となったことを逆恨みし、勤務先で撮影した動画を動画サイトに投稿すると共に、「生徒の名簿を使って、住所、名前に顔写真を付けてアップロードする」と個人情報インターネット上に流出させるかのような内容を同サイトに掲載し、脅迫した。

（7月・岐阜）

【器物損壊】

被疑者（会社員・男性・27歳）は、音楽ファイル等を装ったコンピュータウイルスを、ファイル共有ソフトの利用者に公開し、これをダウンロードし実行した者のパーソナルコンピュータにウイルスを感染させ、内蔵のハードディスクに保存されているファイル等を改変させた。

（8月・警視庁）

【わいせつ画像公然陳列、児童買春・児童ポルノ法違反】

被疑者（会社員・男性・46歳）は、インターネット上に携帯電話用の掲示板サイトを開設し、わいせつ画像を掲載し公然と陳列した。本事件は一般ユーザから通報を受けたインターネット・ホットラインセンターからの情報を元に検挙したもので、同種事件

等で9都府県が同日一斉検挙。

(7月・秋田、警視庁、千葉、愛知、大阪、兵庫、岡山、徳島、熊本)

【児童買春・児童ポルノ法違反】

被疑者(会社社長・男性・30歳)らは、広告収入を上げるため、画像投稿サイトを複数開設し、いずれか1つのサイトにアップロードされた児童ポルノ及びわいせつ画像をすべてのサイトにおいて相互に共有するシステムを構築し、取締りを逃れるためインターネット・ホットラインセンター等からの児童ポルノ画像等の削除依頼には応じる一方で、同種画像の掲載を繰り返した。

(9月・岡山)

【準強姦、児童買春・児童ポルノ法違反(児童ポルノ)】

被疑者(会社員・男性・34歳)は、携帯電話のゲームサイトにおいて、中学3年生の女子児童になりすまし、同サイトで知り合った女子児童に、自己の胸部が露出した姿態を取らせた上、これを同児童が使用する携帯電話機付属のカメラ機能により静止画として撮影させ、被疑者の携帯電話機宛てに電子メールの添付ファイルとして送信させて保存し、児童ポルノ画像を製造した。

さらに、インターネットの監視団体を名乗り、わいせつ画像が添付された電子メールが確認されたので警察や裁判所に通報するなどのメールを送信して同児童を畏怖させるとともに、なりすました中学3年生として、被疑者の要求に応じるしかないと仕向ける内容のメールを送信して、同児童を困惑させ、同児童の反抗を抑圧した上で姦淫した。

(10月・高知)

【商標法違反】

被疑者(無職・女性・26歳)は、ファイル共有ソフト等インターネット上から入手した海賊版ソフトウェアが使用できるよう人気ゲーム機を改造し、インターネット・オークションで「ハック済みゲーム機」と称して販売した。

(5月・愛知)

【著作権法違反】

被疑者(ホテル従業員・男性・37歳)は、インターネット上に公開する目的でファイル共有ソフトを利用して映画を入手し、それをファイル共有ソフトを利用して公衆送信し不特定多数の者に閲覧させ、著作権を侵害した。

(9月・京都、沖縄)

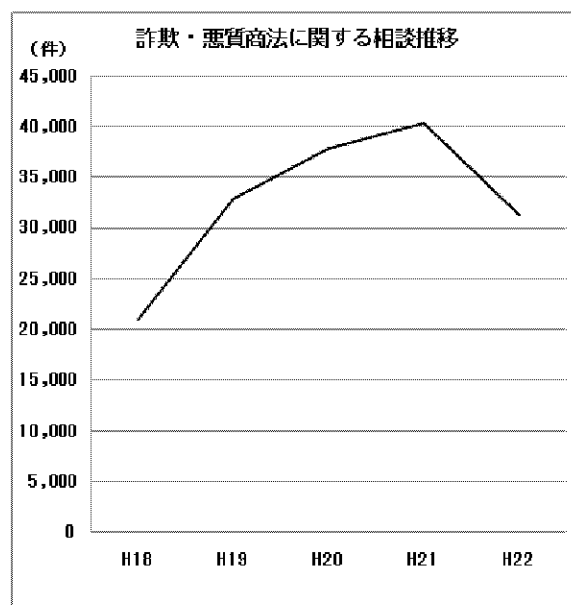
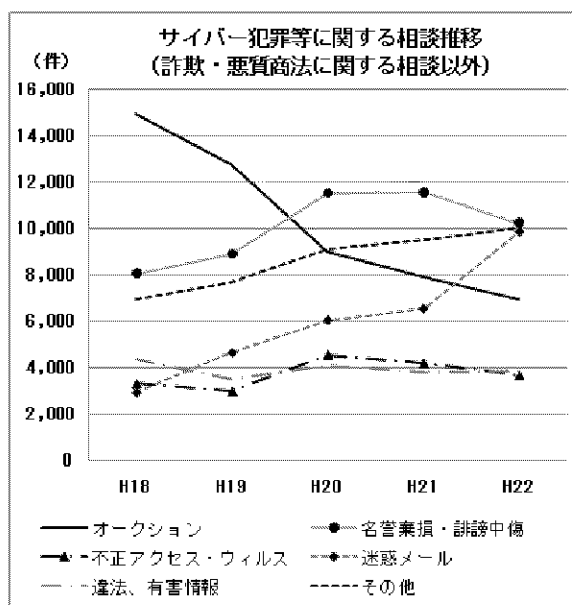
第2 サイバー犯罪等に関する相談状況

都道府県警察のサイバー犯罪相談窓口等に寄せられたサイバー犯罪等に関する相談の受理件数は次のとおり。

1 相談受理件数の推移

(単位：件)

	H18	H19	H20	H21	H22	増減	
詐欺・悪質商法に関する相談 (インターネット・オークションを除く)	21,020	32,824	37,794	40,315	31,333	-8,982	-22.3
架空請求メール	3,069	10,910	22,015	25,856	11,046	-14,810	-57.3
不当請求メール	7,924	9,878	7,938	6,771	6,112	-659	-9.7
その他	10,027	12,036	7,841	7,688	14,175	6,487	84.4
インターネット・オークションに関する相談	14,905	12,707	8,990	7,859	6,905	-954	-12.1
名誉毀損・誹謗中傷等に関する相談	8,037	8,871	11,516	11,557	10,212	-1,345	-11.6
迷惑メールに関する相談	2,930	4,645	6,038	6,538	9,836	3,298	50.4
違法・有害情報に関する相談	4,335	3,497	4,039	3,785	3,847	62	1.6
不正アクセス、コンピュータウイルスに関する相談	3,323	3,005	4,522	4,183	3,668	-515	-12.3
その他	6,917	7,644	9,095	9,502	10,009	507	5.3
合 計	61,467	73,193	81,994	83,739	75,810	-7,929	-9.5



2 主な相談事例

(1) 詐欺・悪質商法に関する相談

- 利用した覚えのないサイトの利用料金や法外な利用料金を請求するメールが届いた。
- ホームページを閲覧していたとき、突然「登録ありがとうございます。料金を支払ってください。」と表示された。
- コミュニティサイトで知り合い仲良くなった人から、「このサイトは利用しなくなった。別のサイトでメール交換したいから、このサイトに登録してほしい。」等と誘われ、誘われた有料メールサイトでメールのやりとりをしていたところ、多額の料金を請求された。

(2) インターネット・オークションに関する相談

【詐欺被害】

- オークションで落札し、代金を振り込んだが商品が送られてこない。
- 落札できなかった商品の出品者から、「落札者からキャンセルされた。」等と直取り引きを持ちかけられ、代金を振り込んだが連絡がとれなくなった。

【違法品等】

- オークションで商品を買ったが、偽ブランド品、海賊版、故障品であった。

(3) 名誉毀損、誹謗中傷等に関する相談

- 掲示板に自分を誹謗中傷するような内容が書き込まれている。
- 掲示板に自分の氏名やメールアドレス等が無断で掲載され、見知らぬ人からたくさんメールが届く。
- 掲示板の書き込みを削除させたいが、どうすればよいか。

(4) 迷惑メールに関する相談

- 有料サイトや懸賞サイト等から、勧誘のメールが多数届いて困っている。
- 「〇〇事件の犯人を探しています。犯人でなければ10人にこのメールを送って下さい。」旨のチェーンメールが届く。
- わいせつな文章や画像が添付されたメールが送られてくる。

(5) 違法情報、有害情報に関する相談

- 児童ポルノやわいせつな画像等を掲載しているホームページがある。
- 偽ブランド品や著作権法違反の商品を販売しているサイトがある。
- 自殺の方法や犬、猫等動物の虐待方法を掲載しているホームページがある。

(6) 不正アクセス、コンピュータ・ウイルスに関する相談

【不正アクセス】

- 誰かが自分のオンラインゲームのキャラクターを勝手に操作して、ゲーム内の通貨やアイテムが盗まれた。

【コンピュータ・ウイルス】

- コンピュータ・ウイルスに感染してしまい、パソコン内の個人情報インターネット上に流出した。

(7) その他

- 利用した覚えのないクレジットカード決済がある。
- 自殺を予告するような書き込みがされている。

第3 インターネット上の自殺予告事案への対応

1 認知の端緒

通報者	H18	H19	H20	H21	H22	増減
本人	0件	17件	15件	13件	13件	± 0件
一般	51件	58件	92件	99件	140件	+41件
サイト管理者	6件	20件	47件	74件	101件	+27件
インターネット・ホットラインセンター	0件	5件	8件	4件	5件	+ 1件
その他	18件	21件	18件	33件	21件	-12件
合計	75件	121件	180件	223件	280件	+57件

※その他には、行政機関、教育関係機関、警察がある。

2 対応状況

	H18	H19	H20	H21	H22	増減
自殺により死亡	1人	0人	7人	2人	11人	+ 9人
自殺を図ったが、救護等により存命	4人	9人	3人	9人	14人	+ 5人
自殺のおそれあり（説諭等実施）	39人	63人	92人	78人	89人	+11人
自殺のおそれなし（いたづら等）	20人	33人	74人	104人	128人	+24人
書込者が判明せず	15人	16人	20人	35人	46人	+11人
合計	79人	121人	196人	228人	288人	+60人

3 平成22年の主な自殺予告事案に対応した事例

【自殺を図った直後に発見し救護した例】

A警察は、コミュニティサイトに自殺を予告する書き込みがあるとの通報を受け、サイト管理者等に対して緊急照会を実施し、判明したB警察管内の書込者宅への安否確認をB警察に依頼し、B警察が、室内で睡眠薬を多量に服用し意識が混濁した状態で倒れていた書込者を発見し、救急車により救急搬送した。

【居所を転々としていた自殺企図者を発見し保護した例】

C警察は、電子掲示板の管理者から同一人物による複数の自殺をほのめかす書き込みがあるとの通報を受け、サイト管理者から得られた発信者情報をもとに、プロバイダへ契約者情報を照会した。複数の書き込みから書き込みを行った場所として、C県内のインターネットカフェ及びホテルが判明したため、各施設を共通して利用していた自殺企図者を割り出し手配したところ、隣接するD警察が発見、保護した。